



トポロジ

この章では、ネットワーク トポロジの詳細と、Cisco Nexus Dashboard Data Broker のデバイスと接続の詳細について説明します。

リリース 3.10.1 から、Cisco Nexus Data Broker (NDB) の名前は、Cisco Nexus Dashboard Data Brokerに変更されました。ただし、GUIおよびインストールフォルダ構造と対応させるため、一部のNDBのインスタンスがこのドキュメントには残されています。NDB/Nexus Data Broker/Nexus Dashboard Data Brokerという記述は、相互に交換可能なものとして用いられています。

- [トポロジ \(1 ページ\)](#)

トポロジ

[トポロジ (Topology)] タブには、Cisco Nexus Dashboard Data Broker ネットワークの統合ビューが表示されます。


トポロジ図には、ネットワークの要素が表示されます。要素にカーソルを合わせると、その詳細が表示されます。要素をクリックすると、その要素のさらに詳しい詳細が表示されます。

表示されるネットワーク要素は次のとおりです。

- 接続された NDB デバイス
- 入力ポート
- モニタリング ツール
- NX-OS デバイス
- ACI デバイス



(注)

最新のトポロジを表示するには、[更新 (Refresh)] () をクリックします。

[トポロジ (Topology)] タブから、次のアクションを実行できます。

- **NDB デバイスの追加 (Add NDB Device)** : 詳細については、[NDB デバイスの追加](#)を参照してください。
- **[スパン デバイスの追加 (Add Span Device)]** : 詳細については、[スパン デバイスの追加](#)を参照してください。
- **[モニタリング ツールの追加 (Add Monitoring Tool)]** — 詳細については、[モニタリング ツールの追加](#)を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。